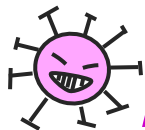


感染症に気をつけよう!!

2023年8月号

横浜市衛生研究所
感染症情報センター 8月1日発行



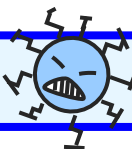
横浜市内の感染症流行状況



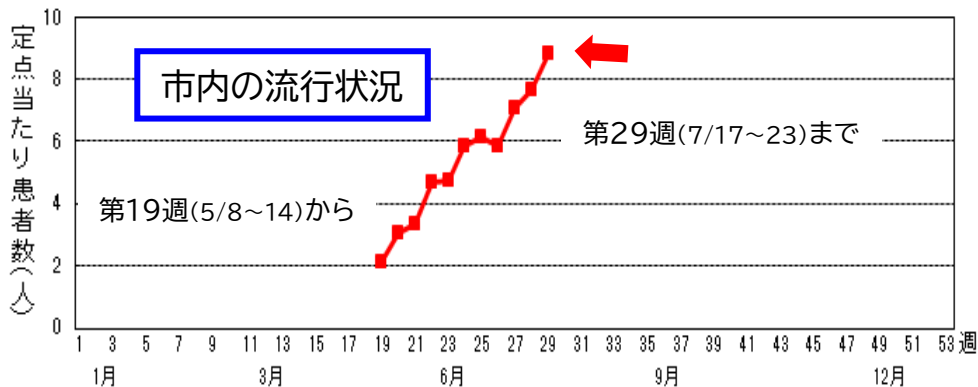
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
梅毒**	発生	横ばい	20～50代を中心にして、報告数の多い状況が続いています。【政府広報動画】【無料・匿名検査】
腸管出血性大腸菌感染症**	発生	横ばい	患者数が多くなっています。感染経路が不明の報告もみられます。【19.9号】【ちらし】
新型コロナウイルス感染症*	流行	増加	5月8日以降、患者数の報告は定点報告に変わりました。幅広い年齢層で増えています。

* 国立感染症研究所 ** 厚生労働省

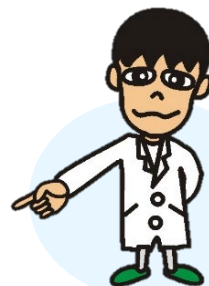
今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症



高齢者は重症化しやすいでしょ。80代は30代に比べて、
70倍くらい重症化しやすいって調査があったよ。**
特に、おじいちゃんおばあちゃんと会う場合は、
感染予防を心がけて体調を整えるようにしなきゃ。**



手や指に付着しているウイルスの数は、
石けんやハンドソープで10秒もみ洗いしてから流水で15秒すすぐと、
1/10,000に減らせるんだ。**
自分と相手の両方がマスクを着用することで、
ウイルスの吸い込みを7割以上抑えるとの研究結果もあるよ。(内閣官房)

